

大網ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

よいことのために手を取りあおう



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2 階
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会 長：吉原 久男 幹 事：渡邊 孝太
- 広報・公共イメージ
向上リーダー 星野 実

2025年10月8日(水)
第27巻 第11号

通巻第1132号

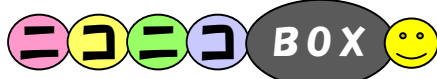
ホームページ
<http://www.oamirotary.com>
✉E-mail
rc@oamirotary.com
Instagram
<https://www.instagram.com/oamirotary>
?igsh=MTRZenBxZZoyOHJwMA==



🌸 本日の例会 🌸

点 鐘 会長 吉原 久男
ソ ン グ それでこそロータリー
会長挨拶 会長 吉原 久男
幹事報告 幹事 渡邊 孝太
プログラム

1.卓話 大村祐子様
「生きる意味」について



関谷清一様
誕生日のお祝い有難うございます。

出席報告

例会日	10月1日	9月17日
会員数	26	27
出 席	16	17
欠 席	5	4
M U	0	0
免 除	5	5
出席率	81%	82%

会長挨拶

吉原 久男



皆さんこんにちは。

9月27日(土)に渡邊幹事、高山会員と3人で財団セミナーへ行ってきました。

そこでは、財団の目的と活動について学んできました。主にクラブから集めた資金がどう使われているかの説明がありました。

11月のテーマはロータリー財団月間になりますので、今回のセミナーを活かしていきたいと思います。

10月は経済と地域社会の発展月間

です。又、日本独自の米山月間があります。ロータリークラブに入会してから、まだ一度も米山記念館へ行ったことが無い人も多いと思います。四之宮さんが元気な内に旅行を兼ねて行ってみたいと思っています。親睦委員長は是非企画してください。お願いします。

米山記念館の脇に龍舌蘭の木があり、この木は数十年に一度だけ花を咲かせる植物だそうです、なんと令和6年7月に開花したそうです。なかなか見ない珍しい木ですが、私の家の近くにも1本あります。

開花が楽しみですが見れる事はないでしょう。

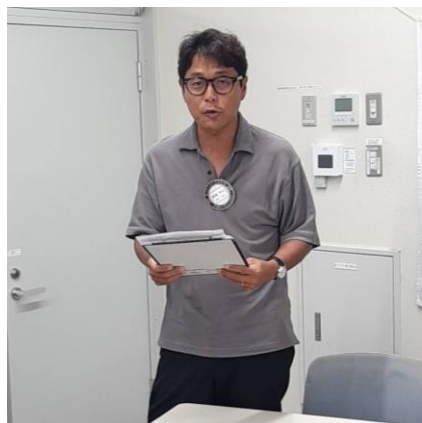
早いもので、来月はガバナー訪問があります。色々なスケジュールも入っていますので、早めに打合わせをしたいと思います。

昨年と同様に3つのグループに分けてのディスカッションになると思います。テーマはグループごとに決めていただき、発表をしていただく事になると思います。

無事に早く終わる事を期待して挨拶とします。

最新ロータリーレート

2025年10月 1ドル=149円



渡邊孝太幹事

10月誕生祝い



- ・関谷清一会員
- ・清宮満巖会員
- ・斉藤敏夫会員
- ・矢部慎一会員

お誕生日おめでとうございます。

会員の皆様から
ハッピーバースデーのソングのプ
レゼントもありました🎵

奨学金授与式



9月、10月分 奨学金授与式
吉原会長より、サジャーニ様へ奨学
金が手渡されました。

8月30日、TKP ガーデンシティ千葉にて奉仕プロジェクトセミナーに参加しましたのでご報告します。

初めに、基調講演として元千葉県知事堂本暁子様より、今、地球は、様々な環境問題を抱えております。特に深刻なのが、地球温暖化、海洋汚染、森林破壊、生物多様性の減少なのですが、これらの問題は、人間の活動が主な原因であり、生態系の破壊、資源の枯渇などに影響を及ぼしています。地球環境を保全するためには、行き過ぎた経済中心の社会から、環境や生物多様性を軸とした持続可能な社会への価値観の転換が求められています。自然資源の持続可能な利用や再生、生物多様性の保全、大気や水の浄化、エネルギーの効率的な利用などにより、地球上の生態系のバランスを保ち、将来世代に美しい環境を受け継ぎます。と、お話がありました。

次に、TSUNAGU プロジェクトについての話がありました。

TSUNAGU プロジェクトとは「一つのクラブでは資金的に困難なとき、もう少し大きな事業をしたいとき、でも、ロータリー財団地区補助金を使う程の事業ではないとき」事業の提唱クラブとなり、プレゼンテーションを行い、地区内のクラブに賛助を募り、「賛助クラブがお金を出し合って事業を支援する」というものです。簡単に言うと国際奉仕のクラウドファンディングです。クラブが国際奉仕に参加し易くならないかこのシステムを

「TSUNAGU2970」とネーミングし、昨年より実施しています。ひとつの国際奉仕事業のプロジェクトを遂行するには相応のエネルギーが必要です。

「TSUNAGU2970」プロジェクトの事業自体は起案提唱したクラブが主に行うものですが拠出したクラブもプロジェクトの説目に参加しこの事業活動の共同意識をお持ち頂きます。これにより、次からは自らのクラブも積極的に国際奉仕事業を行おう！とロータリアンが奮起して頂ければ 2790 地区全体が活気づくものと考えます。

賛助クラブから国際奉仕の第一歩を踏み出し、そこから自分のクラブで企画し、提唱クラブ側になって、さらには財団地区補助金、グローバル補助金を使つての国際奉仕にまで繋がればと思います。

認定自然共生サイト／30by30 とは？2017年7月、「環境」がロータリー財団の7番目の重点分野として新たに加えられたことを受け、2030年までに陸域及び海域の30%を保全・管理することを目的として、目標達成の為複数のプロジェクトが展開されています。

第2790地区と
スリランカ国のつながり

2014年、大塚ロータリークラブと船橋ロータリークラブの会長の方々が2014年に初めてスリランカへ訪問、スリランカと交流が始まりました。

3食食べられない子供達が数多くいます。学校でお友達にご飯を分けて食べる子供もいます。また、和服やソフトなどない国、友達と共通で使う子供も多く見られます。

現在、2790地区では、コスモス奨学金の策定として、大塚ロータリークラブ、船橋ロータリークラブ、松戸西ロータリークラブ、船橋ロータリークラブ、八千代ロータリークラブ、八千代南ロータリークラブ、千葉ロータリークラブ、茂原ロータリークラブ、東金ビュロータリークラブ、市川南ロータリークラブ、勝浦ロータリークラブ 11クラブより、35名の定数候補